

折畳み式ベッド(棚つき)の試作研究 (継続)

菊池元

1. 目的

生活水準の高度化にともない、生活用品は多様化され整理、収納についての解決点が問題化される。

生活用式に合わせて自由に住空間を構成する折畳み式ベッドの試作研究を行ない新製品の開発をはかる。

2. 概要

折畳み式機構においては、緊結部分は充分なる強度と機構の単純化開閉の容易さが要求される。練芯材加工において、出来るだけ材料の節約、軽量、単純化を考慮し、ベッド部分は片面フラッシュ加工を施し、使用材料はすべて3%厚合板を使用した。床面部分のみ強度面から5%厚合板を使用切り抜きによる空気穴を設けることにより、クッション内部の湿気の除去、

折畳み開閉時の空気圧の除去、軽量化することを考慮した。

3. 成果

この研究の目的は将来性あるコンパクト化したベッドの規範原型として研究したものである。

生活形態の多様化、合理化から今後コンパクト化された家具の市場性が大いに期待出来る。

この試作により縦型、横型形式、スライド形式(折畳式併用)等の進展が考えられ機能面(防湿、軽量、機構)デザイン面(形態、色彩)の改善により斬新な市場性ある製品が開発出来る。